

平成22年度  
(2010年度)

# 事業計画書

自 平成22年4月 1日  
至 平成23年3月31日

財団法人日本習字教育財団

## 一. 書道文化に関する調査研究

収蔵資料の中から中国書画をはじめ、日本の教科書など文化教育に関する資料を分類整理し調査研究を行う。

- (1) 近代中国書画に関して他の博物館及び大学等研究機関との連携による共同研究を行う。
- (2) 収蔵資料のデータベース化を行う。
- (3) 収蔵資料の保存のため資料の修復を行う。
- (4) 調査研究に関する研究紀要を作成し公表する。

## 二. 書道文化に関する講演会の開催

「日本習字文化講演会」を盛岡市、静岡市、鹿児島市、岡山市の4ヶ所において開催する。有識者による国語や書道文化に関する講演は広く一般の関心も高く、地域社会への文化的貢献を視野に入れて運営実施する。

開催日・会場 全国4会場

会場名	開催日	会場(開催地)
静岡会場	5月30日	静岡音楽館AOI 7F 講堂(静岡市)
盛岡会場	7月25日	岩手産業会館大ホール(盛岡市)
鹿児島会場	8月28日	南日本新聞会館ホール(鹿児島市)
岡山会場	9月5日	岡山コンベンションセンター レセプションホール(岡山市)

## 三. 書道に関する展覧会の開催

### 1. 書道展の開催

#### (1) 第6回観梅展の開催

日本習字成人・高校生受講生および特待生を対象に自己研鑽の発表の場として作品を募集し、地区展覧会において優秀作品を展示発表する。今回より表装の選択肢を増やし、より参加しやすい作品展を目指す。

- ア. 募集期間 8月1日～9月20日
- イ. 出品料
- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 成人      | 半切・茶掛     | 4,000円 |
|         | 全紙・連落・全懐紙 | 5,000円 |
| 高校生・特待生 |           |        |
|         | 半切・茶掛     | 2,000円 |
|         | 全紙・連落・全懐紙 | 2,500円 |
- ウ. 表装代金 正絹表装

半切・茶掛 11,000円

全紙・連落・全懐紙 16,000円

どんす表装

半切・茶掛 6,000円

全紙・連落・全懐紙 9,000円

無地表装

半切・茶掛 4,000円

全紙・連落・全懐紙 6,000円

エ. 募集点数 3,900点

オ. 審査 観梅展審査委員会

カ. 地区展覧会 全国9会場

平成23年 開催日	会 場
2月 6日	愛知県産業労働センター(名古屋市)
2月11日	那覇市ぶんかテンプス館(那覇市)
2月20日	県立広島産業会館(広島市)
2月27日	福岡国際センター(福岡市)
3月 6日	KFC HALL(東京都)
3月13日	みやこめっせ(京都市)
3月21日	仙台国際センター(仙台市)
3月26日27日	黎明館(鹿児島市)
4月 3日(予定)	札幌市民ギャラリー(札幌市)

(2) 第3回公募日本習字硬筆展の開催

日常生活に密着した硬筆学習への興味と意欲を喚起することを目的に広く作品を募集し、優秀作品を当財団ホームページ・機関紙および新聞などで発表する。

ア. 募集期間 8月1日～9月20日

イ. 出品料 幼児、小・中学校、高校生の部 500円  
一般の部 1,000円

ウ. 募集点数 46,000点

エ. 審査 日本習字硬筆展審査委員会

オ. 募集・発表 当財団ホームページ・機関紙・新聞を中心に行なう。

(3) 伊都の里研修所作品展

平成21年度伊都の里研修所受講生の作品展を行う。

(募集は平成21年度に実施)

	会 期	会 場
--	-----	-----

第1期	4月13日～18日	福岡市美術館市民ギャラリーB室(福岡市)
第2期	5月9日～28日	伊都の里研修所(福岡市)

## 2. 席書大会の開催

### (1) 第11回日本習字全国席書大会

ア. 開催日・会場 全国6会場

大会名	平成23年 開催日	会場(開催地)
福岡大会	1月 8日	福岡国際センター(福岡市)
東京大会	1月 9日	E B I S 303(東京都)
神戸大会	1月 9日	神戸国際展示場(神戸市)
札幌大会	1月15日	札幌中央体育館(札幌市)
名古屋大会	1月16日	名古屋国際会議場(名古屋市)
沖縄大会	1月10日	沖縄市体育館(沖縄市)

イ. 参加者数 3,500人

ウ. 参加料 小学生、中学生、高校生の部 1,000円  
一般の部 2,000円

エ. 審査 日本習字全国席書大会審査委員会

オ. 展示 優秀作品90点を当財団機関紙で発表する。その内、席書大賞・席書準大賞を、観梅展地区展覧会会場で展示する。

### (2) 第15回観峰館かきぞめ大会

観峰館近隣の幼児、小学生、中学生を対象に「かきぞめ大会」を開催する。

ア. 開催日 平成23年1月8日

イ. 参加者数 180人

ウ. 参加料 300円

エ. 審査 観峰館かきぞめ大会審査委員会

オ. 表彰 観峰館で作品を発表するとともに入賞者に賞状を授与する。

カ. 展示 平成23年1月9日～10日

## 四. 世界各国の文字資料その他文化資料の収集及びその展示公開

博物館観峰館の収蔵資料を展示公開する。

### (1) 常設展示(主な展示内容)

ア. 近代中国の書画、中国の文字資料、復元石碑

イ. 日本の教科書、西洋アンティーク

ウ. 「避暑山荘」・「三希堂」の復元展示

エ. 原田観峰の書作品

## (2) テーマ企画展

名 称	会 期	内 容
「文人たちの憧憬（あこがれ）」	4月8日～ 7月11日	中国文人が求めた理想の世界を表現した山水画や書作品を紹介する。
「近代日本の書道家たち」	4月1日～ 6月6日	収蔵資料を通じて、明治から昭和における日本書道史の流れを探る。
「近代中国書画展」	7月15日～ 8月31日	近代中国で活躍した書画家の作品を展示する。
「篆書展」	9月4日～ 12月12日	清時代後期の篆書作品を、拓本などと共に展示する。
五個荘地区共催展「商家に伝わるひな人形めぐり」	平成23年 2月1日～ 3月31日	滋賀県東近江市五個荘地区に伝わるひな人形と、上巳の節句にまつわる中国書画を展示する。

## 五. 教育・文化施設の運営

博物館観峰館の運営並びに各種体験学習教室、博物館イベントを開催する。

### (1) 概要

- ア. 開館日 4月1日～12月12日、平成23年2月1日～3月31日
- イ. 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）  
冬期休館（12月13日～平成23年1月31日）
- ウ. 開館日数 272日
- エ. 開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は4時まで）
- オ. 入館料 一般500円、高校・大学生400円、  
小・中学生300円（20名以上の団体は2割引）
- カ. 入館無料日 5月 5日 こどもの日  
5月18日 国際博物館の日  
9月 1日 習字の日  
9月21日 敬老の日  
10月1日 開館記念の日  
11月20日・21日 関西文化の日

（主催：関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会）

### (2) 書道に関する体験学習教室の設置

- ア. 瓦当拓本教室
- イ. 石碑採拓教室
- ウ. 篆刻講座

エ. 年賀状作り講座

(3) 各種イベントの開催

ア. ギャラリートーク (展示解説)

4月25日、5月23日、6月20日、9月12日、10月10日、11月7日

イ. 中国楽器ミニ・コンサート 4月25日、5月23日、6月20日

ウ. 七夕短冊作り会 6月26・27日 7月3・4日

エ. 夏休み一文字合わせクイズ 夏休み期間中

オ. アンティーク・オルゴール・ミニコンサート 9月23日

カ. 音楽イベント 12月12日

キ. ひなまつり作品公募展 2月1日～3月31日

(4) 博物館学芸員実習生の受け入れ

実習期間 8月4日～8日 定員6名

## 六. 機関誌その他の出版物の発行

(1) 広報誌「水茎」の発行

(2) 「観峰館紀要 第6号」の発行

(3) 幼児教材の発行 「だいすきひらがな」[はじめてのひらがな]

(4) 漢字練習帳 小学1年～小学6年

(5) 生徒部八段位受験の手引き

(6) ホームページの更新

(7) 当財団ロゴマークの作成

## 七. 書道を中心とした国際交流

(1) 観峰館の収蔵資料に関し、学术交流などを目的として、中国西泠印社との派遣もしくは招聘をおこなう。

(2) 中国の博物館(鎮江焦山博物館等)と連携して書道文化交流を行う。

## 八. 書道の通信教育及び実習指導

### 1. 通信教育

(1) 教材

各コースそれぞれ教材及び学習指導書を配布する。

(2) 学習方法

受講申込み→教材配本→学習後、課題提出→添削、質問への回答→返送を1ヶ

月サイクルで繰り返して学習する。臨書部の添削については希望者のみ行う。また書写技能基礎講座、書道臨書講座については最終課題提出時に修了試験を行う。

### (3) コース

No.	通信教育の名称	期 間
1	書写技能基礎講座 [楷書編] (文部科学省認定)	6か月
2	書写技能基礎講座 [行書編] (文部科学省認定)	6か月
3	書道臨書講座【楷書Ⅰ】(文部科学省認定)	5か月
4	書道臨書講座【楷書Ⅱ】(文部科学省認定)	4～12か月
5	書道臨書講座【隷書】	3～6か月
6	日本習字漢字部	12か月
7	日本習字かな部	12か月
8	日本習字ペン部	12か月
9	実用書道くらしの書	12か月
10	日本習字墨画部	12か月
11	日本習字臨書部	12か月
12	日本習字入門講座 [漢字部]	3か月
13	日本習字幼児部	12か月
14	日本習字小学1年	12か月
15	日本習字小学2年	12か月
16	日本習字小学3年	12か月
17	日本習字小学4年	12か月
18	日本習字小学5年	12か月
19	日本習字小学6年	12か月
20	日本習字中学1年	12か月
21	日本習字中学2・3年	12か月

### (4) 資格認定

#### ア. 段級位の認定

(ア) 受講者の課題出品に対して各コースそれぞれの基準に従って審査し、段級位を認定する。

(イ) 生徒部八段位昇段試験を実施する。

受験有資格者に対し、全国で昇段試験を実施する。

(ウ) 臨書部昇段試験を実施する。

受験有資格者に対し、半紙課題・条幅課題それぞれ昇段試験を実施する。

#### イ. 「くらしの書」実力の認定

「実用書道くらしの書」の前年度受講者で希望者に対し、実力認定試験【初級】・【中級】・【上級】を実施する。

### (5) 認定証の発行

ア. 所定の段級位合格者に対し、本人の申請により、段級位等認定証を発行する。

イ. 「くらしの書」実力認定試験の合格者に対し、本人の申請により、認定証を発行する。

(6) 免許状の発行

免許状取得資格者に対し、本人の申請により、免許状を発行する。

(7) 表彰

通信教育受講者の中から特に優秀な成績の者を表彰する。

〔文部科学省認定社会通信教育表彰〕

表彰の種類	表彰日
文部科学大臣表彰	4月23日
高知県教育長賞	11月21日
財団法人社会通信教育協会長賞	11月21日

(8) その他

ア. 日本習字臨書部模範揮毫DVD（付録：解説付拡大手本・条幅）及び日本習字生徒部・漢字部・かな部模範揮毫DVDを毎月発行する。

イ. 文部科学省、高知県ほか主催の全国生涯学習フォーラム高知大会（11月20日～22日）に参画し、面接指導（11月20日）、社会通信教育修了者の表彰（11月21日）を実施する。

## 2. 実習指導

当財団研修施設及び全国各地において実習指導を行う。

- (1) 伊都の里研修所
- (2) 東京研修所
- (3) 沖縄研修所
- (4) 各地講習会

## 3. 受講生に対する文房四宝の頒布

受講生に対し、学習効果を高めるため、学習に適した文房四宝を推奨し頒布する。

# 九. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 福岡矯正管区文芸コンクールをはじめ各種団体等が実施する書道展覧会等に対し、後援、審査等の支援をする。
- (2) 受講生に対する図書の斡旋を行う。
- (3) 原田観峰生誕100年記念事業を推進する。

本年度は「原田観峰生誕100年記念作品展（仮称）」として、全国9会場において、書作品を中心とした展示を行う。また、原田観峰ゆかりの地である福岡において「原田観峰生誕100年を祝う会（仮称）」を開催する。実施日・実施場所については現在調整中。